

SUPER
FORMULA

STAGE

superformula.net

INDEX

- 2017 出場ドライバー紹介 ②③
- 今大会の見どころ ②
- 本山 哲アンバサダーが語るコースガイド ③
- PICK UP RACE QUEEN ④
- リア流 SUPER FORMULA 調理法 ④
- インフォメーション ④

Published JAPAN RACE PROMOTION
2-3-25 Kudan-minami Chiyoda-ku Tokyo

本紙への広告掲載のお問い合わせは —
株式会社 日本レースプロモーション
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25
☎03-3237-0131
http://superformula.net

JRP
Japan Race Promotion Inc.

INTERVIEW NO. 6

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL ドライバー

関口雄飛

Yuhi Sekiguchi #19

「これまでずっと応援してきたんだから、自分もちゃんと死ぬ気で努力しなさい。自分の本気の姿勢を見せて、それでもダメなら怒らないけど、せめてやれることはやりなさい!」

F1を目指してヨーロッパへの挑戦を決意した20歳の関口雄飛は2008年、フォーミュラ・マスターシリーズ参戦のために渡欧した。それに続いて、オフシーズンに行なわれるGP2アジアの開幕戦にも出場。そこで手持ちの資金が途絶えた。結局、GP2には1戦参加しただけで帰国。だが戻っても関口には乗るべきシートもなく、生きる目標を見失った失望感から無為な日々を送る。本人が振り返って言うには、「まるで廃人みたいな生活」。そこに喝を入れたのが、小さな頃からいつも正しい道に引き戻してくれた母の言葉だった。

1987年12月29日生まれの関口は、幼稚園児の頃、TVでF1を見始める。間もなくアイルトン・セナがサンマリノGPで他界したが、F1は『世界で一番速い人たちが集まるところ』だと憧れを持った。同じ頃、父が週刊誌に載っていた子供用カーターの広告をみつけ、「行ってみるか?」と誘ったのがカーターを始めたきっかけ。「速く走ってれば、きっとF1に行ける」と思った。そこから活動を続け、全日本選手権でタイトルを獲得したのが2002年。中学3年生の時だった。翌年、関口はFTRS（フォーミュラトヨタ・レーシングスクール）を受講して、見事スカラシップ生に選ばれる。フォーミュラトヨタに乗ったのが初めてだったにも関わらず、スクール中に行なわれたレース

で講師役の中嶋一貴をオーバーテイク。その場で一番速かったからだ。当時、トヨタはF1で活動中。関口にとっては、「F1への扉」が開きかけた瞬間だった。だが、FTRSでは2年で本流から外される。様々な事情から、本来の実力を出し切ることができないままだった。また、誰に対してもハッキリと言いたいことを言う性格も災い。大人たちの中には、関口を嫌う人も多かった。だが、関口は諦めない。自らの資金で3年目のフォーミュラトヨタに挑戦。タイトルを獲得する。同時に、その年始まったばかりのFCJ（フォーミュラチャレンジ・ジャパン）で初代チャンピオンにも輝いた。その結果、ナウ・モータースポーツのオーディションに招聘され、そこでも最速。2007年、19歳の時にF3にデビューした。クルマやエンジンが型落ちということもあって、成績はシリーズ7位。だが、この時の走りがホンダ陣営の目に留まる。来シーズン、関口はホンダに移籍すると噂されていたが、F1を夢見て欧州挑戦を決意。この挑戦

が上手く行けば、帰国することはなかっただろう。しかし事は思い通りに運ばず。夢破れて帰国した関口の生活は荒れた。そこに母が喝を入れたのだ。母の言葉を聞いた関口は、心を入れかえて活動を開始。飛び込みでエプロの木谷真人社長のもとを訪れ、「分割でいいので3億円下さい」といきなり申し出る。GP2に再度挑戦したかった。この依頼は“無理だ”と即断されたが、木谷社長は前年フルカラーで走らせていたF3のNクラスに“乗ってみるか?”とってくれた。そして、関口のキャリアは首の皮一枚つながった。その年の速さから、翌年はスリーボンドが抜擢。しかし、そのシートは1年で無くなってしまい、今度こそ本当に窮地に追い詰められる。それを救ったのがB-Maxの組田龍司社長。自社製作していたF4の開発に関口を起用し、レースにも出場させた。さらに、トムスの関谷正徳からF3のシャシーが1台余っているという話を聞いた関口が、“お願いします、出たいです”と頼み込んで来た時も、組田

社長はこれを快諾。2011年、開幕戦不参戦ながら、関口はF3チャンピオンクラスでタイトルを獲得した。それでも国内トップカテゴリーからはなかなか声が掛からず。2015年の末、ようやくスーパーフォーミュラのテスト参加が決まった時には、F3タイトル獲得から4年の月日が流れていた。このテストの話聞いたのはマカオGPに出場している時。乗ったら速く走れる自信はあった。ただ、「周りにいるみんなが、僕を乗せるために動いてくれて、その気持ちが嬉しかった」と関口は言う。そして、そうした周りの人たちの期待に応え、関口はシートを獲得。デビューイヤーの昨年中盤戦には2回の優勝を遂げ、一躍トップコンテNDERの仲間入りを果たした。特に、昨年の菅生では、次元の違う走りを展開。今季は中盤戦以降、少し苦戦が続いているが、きっと近々関口らしいレースを見せてくれるはずだ。

*インタビュー全編は後日公式ホームページに掲載いたします。

Series Partner **HONDA TOYOTA**

Series Supporter **YOKOHAMA**

Promotion Partner **HITACHI**
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

SONY
Action Cam

純 NINKI-ICHI
人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ

J SPORTS

2017 ENTRY LIST

全日本スーパーフォーミュラ選手権 エントリーリスト

Twitter Facebook Instagram ★は今季スーパーフォーミュラ初参戦

※写真は開幕戦時のものです。実際のカラーリングと異なる場合があります。

P.MU/CERUMO・INGING

ピーエムユーセルモインギング

1 国本雄資

Yuji KUNIMOTO
1990年9月12日生/神奈川県



P.MU/CERUMO・INGING SF14

RANKING 8 POINTS 11

2011年からスーパーフォーミュラを戦い、昨年チャンピオンに輝いた。今季は開幕戦で2位、第3戦で初のポールポジションを獲得している。

<http://yujikunimoto.com>



2 石浦宏明

Hiroaki ISHIURA
1981年4月23日生/東京都



P.MU/CERUMO・INGING SF14

RANKING 1 POINTS 30.5

2015年のスーパーフォーミュラチャンピオン。第3戦富士で、現役では最年長となる36歳での優勝を達成し、以降ランキングトップをキープしている。

<https://ameblo.jp/ishiura/>



KONDO RACING

コンドーレーシング

3 ニック・キャシディ★

Nick CASSIDY
1994年8月19日生/ニュージーランド



FUJIXRaffinee KONDO SF14

RANKING 10 POINTS 7

2015年全日本F3に参戦し、いきなりチャンピオンを獲得。今年スーパーフォーミュラに参戦し、第2戦岡山のレース1で3位に入る活躍を見せた。

<https://twitter.com/nickcassidy.?lang=ja>



4 山下健太★

Kenta YAMASHITA
1995年8月3日生/千葉県



FUJIXRaffinee KONDO SF14

RANKING 11 POINTS 6.5

昨年全日本F3チャンピオンを獲得し、今年スーパーフォーミュラに。現在22歳と日本人選手の中で一番若く、第4戦ではポールポジションを獲得した。

<http://kentayamashita.jp>



SUNOCO TEAM LEMANS

スノコチームルマン

7 フェリックス・ローゼンクヴィスト★

Felix ROSENQVIST
1991年11月7日/スウェーデン



SUNOCO TEAM LEMANS SF14

RANKING 3 POINTS 24.5

スウェーデン期待のドライバーで、今年スーパーフォーミュラへ参戦。フォーミュラEにも参戦している。第3戦、第5戦と2度の2位表彰台を獲得した。

<http://www.felixracing.se/?lang=en>



8 大嶋和也

Kazuya OSHIMA
1987年4月30日/群馬県



SUNOCO TEAM LEMANS SF14

RANKING 12 POINTS 6

今年古巣となるチームルマンから5年ぶりにスーパーフォーミュラに復帰。名門チーム復活へ力を注ぎ、第5戦で3位入賞を果たした。

https://twitter.com/oshima_kazuya?lang=ja



REAL RACING

リアルレーシング

10 塚越広大

Koudai TSUKAKOSHI
1986年11月20日/栃木県



REAL SF14

RANKING 15 POINTS 3

2012年にチャンピオン争いを演じ、惜しくも2位に。今季開幕戦では予選5番手、決勝6位入賞。シーズン後半で再び上位進出を狙う。

<http://www.tsukakoshikoudai.net/>



TEAM MUGEN

チームムゲン

15 ピエール・ガスリー★

Pierre GASLY
1996年2月7日/フランス



TEAM MUGEN SF14

RANKING 2 POINTS 25

レッドブルの育成ドライバーとしてF1への進級が噂される注目。今年スーパーフォーミュラへ参戦し、第4戦で見事初優勝、続く第5戦でも勝利した。

<https://www.pierreagasly.com/fr.html>



16 山本尚貴

Naoki YAMAMOTO
1988年7月11日/栃木県



TEAM MUGEN SF14

RANKING 9 POINTS 10.5

2013年、ホンダ勢として4年ぶりにチャンピオンに輝き、ホンダのエースドライバーに。今季も開幕戦で2位に入ると、ホンダ勢のけん引役として活躍。

<http://www.naoki-yamamoto.com>



ここに注目! 第6戦 スポーツランドSUGOの見どころ まずは予選2列目以内の争いに注目!

ピエール・ガスリーの2連勝で幕を閉じたオートポリスでの第5戦から2週間。全日本スーパーフォーミュラ選手権第6戦は、宮城県・スポーツランドSUGOに舞台を移して開催される。そのSUGOは国内屈指のチャレンジングなコース。エスケープゾーンがほとんどなく、わずかなミスがスピンやコースアウトにつながる。だが、その分ドライバーたちにとってはやりがいのあるコース。特に後半のSPイン&アウトコーナーから10%の上り勾配でSUGOの名物コーナーともなっている最終コーナーは、“攻めがい”のある場所だ。ただし、コース幅は狭く、オーバーテイクが容易ではないことも、このコースの持ち味。最終コーナーから上手くスリップストリームに入ると、1コーナーから3コーナーにかけて横ならびになれば、何とか前に出られるチャンスもあるが、スーパーフォーミュラのレベルになるとドライバーのミスが少ないこともあり、かなり難しいだろう。さて、そんなSUGOのレースは過去2戦のもて

ぎ、オートポリスとは違い、タイヤが1スベックに戻される。開幕戦鈴鹿から第3戦富士までと同様、メディアムタイヤのみでの戦いだ。また決勝レース中のピットイン義務付けがないのも今大会の特徴。とは言うものの、ノーピットで完走するには燃費が厳しい。そのため、昨年のレースと同様、給油のみで走りきるドライバーが多いものと思われる。その場合、すでにタイヤが温まっているドライバーと、タイヤ交換をしてコールドタイヤのアウトラップを走っているドライバーという差は生まれにくい。ピットアウトしてきたドライバーをオーバーテイクしようと思っても、それは至難の技となる。あとは、ピットに入るタイミングと給油量、コースに戻った時の位置などが結果を左右する重要なポイントとなってくる。その分、今大会で最も重要となってくるのは予選とスタート。上位グリッドから1コーナーまでの距離が短い分、優勝を目指すには2列目以内にはつけたいところだ。

その予選は今回もノックアウト方式で行われるが、Q1からQ3までの間でドライバーたちにとって一番難しいのはQ1。SUGOはコース全長が短く、19台が一斉に走った場合には間違いなくトラフィック（混雑）が生じる。もてぎ、オートポリスで使用されたソフトタイヤよりも、今回使用されるメディアムタイヤはウォームアップにも若干時間がかかる分、理想的な走行スペースを探すことは簡単ではない。昨年の場合、アウトラップとウォームアップラップ合わせて3周。走り出してから実質4周目の計測3周目にアタックということで、めまぐるしい展開となりそう。また、今年も土曜日朝のフリー走行ではニュータイヤを使用せず、Q1に2セット投入するドライバーが多くなるはず。さらにSUGOの場合、予選中にコースアウトするドライバーが出てくる可能性もあり、その場合はアタック中に赤旗が提示される危険性も…。もし赤旗が提示されれば、影響を受けるドライバーも出てくるだろう。しかもタイムは超接近戦。100分の1秒台、1000分の1秒台の差でQ2進出を果たせないドライバーもいる。そういう意味でもQ1は非常に重要だ。そして、ここで5台が脱落するとは言っても、14台で走る

Q2も状況はそれほど大きく変わらない。ここでも巧みなトラフィック・マネージメントが要求されるはずだ。Q3に関しては、8台での走行となるが、例年タイム差は小さく、最後まで誰がPPを獲得するか分からない展開になるだろう。そして、決勝で最大の見どころとなるのがスタート。国内サーキットでは唯一、緩やかな登り坂でのスタートとなるが、ここでホールショットを奪うのは誰なのか？ だが、それだけでレースが決まってしまうわけではないのが、SUGOのSUGOたる所以でもある。このサーキットを語る時、いつも言われるのは“魔物が棲んでいる”というジンクス。レース中、とにかく様々なハプニングが起こるからだ。それを証明するように、昨年の決勝でも、ある意味絶妙なタイミングでセーフティカーが導入された。その後、すべてのマージンを失った関口雄飛が、予選通りの猛プッシュを続けて再びギャップを築き、完全優勝を果たしたのは記憶に新しい。国内トップフォーミュラの歴史の中でも、五指に入る感動的なレースだった。それ以前でも、SUGOでは最後まで目が離せない展開のレースは珍しくない。それだけに、今年も忘れられない1戦になることが期待される。

Team Pit — ピット割り

F3	F3	1/2			36/37	F3	F3	19/20			40/41	F3	F3	64/65			16/15	F3	10	F3	F3	F3				3/4			7/8	F3	F3	18		50										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45

◀ 1st Corner

コントロール
タワー

TENT

F3	F3	F3	F3	F3	F3	F3
1	2	3	4	5	6	7

KCMG

ケーシーエムジー

18 小林可夢偉
Kamui KOBAYASHI
1986年9月13日 / 兵庫県 日本



KCMG Elyse SF14

RANKING **7** POINTS **14.5**

F1で活躍し、2015年にスーパーフォーミュラへ。2年間チームルマンで活躍してきたが、今年チームを移籍。第4戦では優勝目前の2位表彰台を獲得。

<http://www.kamui-kobayashi.com/>



ITOCHU ENEX TEAM IMPUL

イトウチュウエネクス チーム インバル

19 関口雄飛
Yuhi SEKIGUCHI
1987年12月29日 / 東京都 日本



ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14

RANKING **6** POINTS **15**

長年GTレースで活躍。昨年はスーパーフォーミュラ初参戦で、2勝する活躍を見た。今季は開幕戦こそ入賞を逃したが、その後は3連続入賞している。

<http://yuhi-muteki.net/>



20 ヤン・マーデンボロー ★
Jann MARDENBOROUGH
1991年9月9日 / イギリス 英国



ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14

RANKING **14** POINTS **3.5**

昨年全日本F3で2位となり、今年スーパーフォーミュラへ。まだ表彰台獲得こそないが、2度目の入賞。星野一義監督の下、どこまで成長できるか期待だ。

<https://www.jannthaman.com/>



VANTELIN TEAM TOM'S

バンテリン チーム トムス

36 アンドレ・ロッテラー
Andre LOTTERER
1981年11月19日 / ドイツ 德国



VANTELIN KOWA TOM'S SF14

RANKING **4** POINTS **20**

2011年チャンピオン。11、12、14年とル・マン24時間レースで優勝している。毎年タイトルを争うが惜しくも届かず。今年こそ2度目の栄冠なるか。

https://twitter.com/andre_lotterer?lang=ja



37 中嶋一貴
Kazuki NAKAJIMA
1985年1月11日 / 愛知県 日本



VANTELIN KOWA TOM'S SF14

RANKING **5** POINTS **16**

元F1ドライバーで、2012、14年のチャンピオン。父はナカジマレーシングの中嶋悟監督。今季は開幕戦でポール・トゥ・ウィンを飾っている。

<http://www.kazuki-nakajima.com/>



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

ドコモチームダンディライアンレーシング

40 野尻智紀
Tomoki NOJIRI
1989年9月15日 / 茨城県 日本



DOCOMO DANDELION M40S SF14

RANKING **17** POINTS **2**

デビューした2014年にいきなり優勝し、俄然注目される存在に。今季は入賞こそ2回にとどまるが、第5戦で自身2度目のポールポジションを獲得。

https://twitter.com/tomoki_nojiri



41 伊沢拓也
Takuya IZAWA
1984年6月1日 / 東京都 日本



DOCOMO DANDELION M41Y SF14

RANKING **13** POINTS **4**

2008年にフォーミュラ・ニッポンへ。12年にはタイトルを争った。その後GP2に参戦し、15年に復帰。今季は開幕戦と第3戦で入賞を果たしている。

<http://www.takuya-izawa.com/>



B-Max Racing team

ビー・マックスレーシングチーム

50 小暮卓史
Takashi KOGURE
1980年8月1日 / 群馬県 日本



B-Max Racing team SF14

RANKING **—** POINTS **0**

2003年からフォーミュラ・ニッポンを戦い、ロッテラー選手とともに今年で15年目のベテラン。チームは今年初参戦。熟練の技でどこまで活躍できるか。

<http://www.takashi-kogure.com/>



TCS NAKAJIMA RACING

ティーシーエス・ナカジマレーシング

64 中嶋大祐
Daisuke NAKAJIMA
1989年1月29日 / 愛知県 日本



TCS NAKAJIMA RACING SF14

RANKING **16** POINTS **2**

父はチームの中嶋悟監督、兄の一貴も選手として活躍中。開幕戦で入賞後は苦戦が続くが、昨年も後半に活躍を見せており、残り2戦に期待だ。

<http://www.daisuke-nakajima.com/>



65 ナレイン・カーティケヤン
Narain KARTHIKEYAN
1977年1月14日 / インド 印度



TCS NAKAJIMA RACING SF14

RANKING **—** POINTS **0**

2001年にフォーミュラ・ニッポンに参戦。その後05、11、12年とF1で戦い、14年から再び日本で活動。今季チームを移籍し、新天地での入賞が待たれる。

<https://twitter.com/narainracing?lang=ja>



本山 哲 アンバサダーが語る スポーツランドSUGO

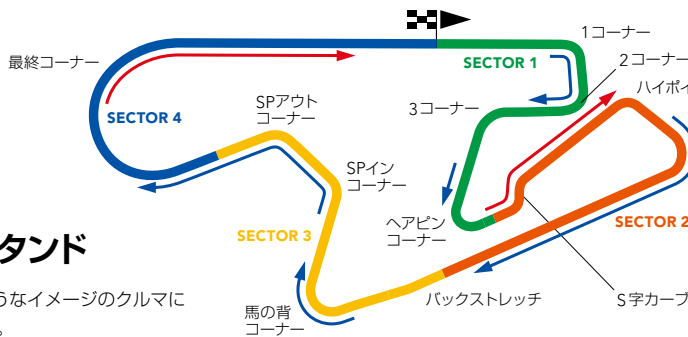
・イチオシはスピードと迫力が楽しめるSPスタンド

SUGOは前回のオートポリスと同様、走っている面白いサーキット。エスケープゾーンが少ないというのはリスクではありますが、コースレイアウトはチャレンジングです。特にSPコーナーから最終コーナーは本当に速く楽しめますし、ドライバーズサーキットなので腕が試されます。僕自身はSUGOで結構勝っているんですが、2004年にチーム5ZIGENで勝った一戦は印象に残っていますし、2003年にアンドレ・ロッテラーをオーバーテイクして勝ったのもいい思い出。あの時は、1コーナーのアウトから並びかけ、そのまま立ち上がりで3コーナーでインを取って前に出たんですよね。

このコースはコーナーが多いのですが、1コーナーとバックストレッチ先でハードブレーキングが要求されるので、クルマとしてはブレーキングで安定していることが大事です。それに加えて、後半のハイスピードセクターでオーバーステアが強くなる、

“速く駆け抜けられる”ようなイメージのクルマに仕上げるのが重要ですね。

また、観客とコースが近いというのもSUGOの特徴。グランドスタンドからは1コーナーのブレーキングからコーナリングまでよく見えます。3コーナーは3コーナーで土手の上から全部見え、ドライバーごとのライン取りの違いや縁石の使い方の違いが分かりますよ。また、一番面白いと言われているSPのスタンドも、馬の背の立ち上がりから最終コーナーに向けて加速していくところまでが見えます。中でも僕がオススメするのはSP。スーパーフォーミュラの高いスピードと迫力が堪能できるはず。このコースでのオーバーテイクは、最終コーナーから後ろに付いて1コーナーでというパターンがほとんど。バックストレッチ先の馬の背は下っていると、あまりスリップストリームが効かないので抜くのが難しいんです。なのでオーバーテイクを見たい



COURSE DATA
全長: 3.704km
コースレコード: 1'05.005
A. ロッテラー (PETRONAS TOM'S SF14)
2015.10.18
(2015 SUPER FORMULA 第6戦)

過去3年の結果 (優勝者 | PP)

2016	関口雄飛 (ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14)	関口雄飛 (ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14)
2015	A. ロッテラー (PETRONAS TOM'S SF14)	A. ロッテラー (PETRONAS TOM'S SF14)
2014	野尻智紀 (DOCOMO DANDELION M40T SF14)	山本尚貴 (TEAM 無限 SF14)

ならグランドスタンドがいいですね。また、オーバーテイクがそれほど容易ではないので、レースとしては予選が重要になってきます。

ここまでの5戦を見る限り、シリーズの軸となるのは石浦や国本、ロッテラーあたり。彼らは高いレベルで安定していて強いですね。それから一番印象的なのはガスリーの活躍。ホンダエンジンが良くなった部分もあると思いますが、クルマのセットアップも含めてチームとの連携が良くなっているように見えます。ローゼンクヴィストもレースでのアベレージの高さは素晴らしい。ドライビングもそうですが、速いクルマを作るにあたって彼の貢献度が高いように見受けられます。加えてチーム内組織を変更して良い方向になっているのかもしれない。また、

予選での野尻の速さ、可夢偉の躍進も印象的ですね。一方、今年のタイヤになってから、インバルは本来の強さが出ていないように見えます。でも、時折マードンボローも関口も速さは見せているので、セッティングが繊細で紙一重なのかもしれません。今回のSUGOは、勢い言えばガスリー中心になるかと思っています。チャンピオン争いという点では、石浦がここで流れを引き戻せるかが注目ポイント。多くのドライバーとチームが同じようなレベルにいる今のSFでは、繊細なセッティングを少しでもうまく決めれば誰でも優勝するチャンスがある状況。権利を残しているドライバーたちにとっては、チャンピオン争いに残るための“ターニングポイント”になるでしょう。

Starting Grid — スターティンググリッド **自分でGrid表を完成させよう!**

2	No.	4	No.	6	No.	8	No.	10	No.	12	No.	14	No.	16	No.	18	No.		
1	No.	3	No.	5	No.	7	No.	9	No.	11	No.	13	No.	15	No.	17	No.	19	No.

PICK UP RACE QUEEN Vol.2



#3,4
Vガール
愛聖りさ
RISA AISE



#7,8
2017
SUNOCO
イメージガール
柚月めい
MEI YUZUKI



#50
B-MAX girl
森園れん
REN MORIZONO

#19,20
2017
ITOCHU ENEX
IMPUL LADY
小山桃(左)
MOMO KOYAMA
陽菜みなみ(右)
MINAMI HARUNA



#7,8
Team Lemans
サーキットレディ
玉城絵夢(左)
EMU TAMAKI
青山由美子(右)
YUMIKO ADYAMA



#7,8
ミスレガールシィ
倉岡さら(左)
SARA KURADKA
矢野華依(右)
KAE YANO



#18
KCMG
エンジェルス
藤咲百合香(左)
YURIKA FUJISAKI
大沢真理恵(右)
MARIE OSAWA

#7,8
Owltech Lady
蒼井彩加
SAYAKA ABI

「冷やし中華、終わりました」。寂しいかな、冷やし中華がメニューから消える今日この頃、モタスポシーズンもそろそろ終盤。今年もSUPER FORMULAの夏を熱く盛り上げたメニュー「2スベックタイヤ制」が終了。通常営業に戻る第6戦のSUGOは路・気温がグッと下がり、ホットなメニューが恋しくなりますね。そんなあなたを温める、シリーズチャンピオン争いは最高潮にヒートアップ! このSUGOの森の中、出会うのは魔物が女神か…注目したいのは、SUGOを得意とする選手やエンジニア。実は、デビュー以来SUGOの表彰台を取り逃が



リア流SUPER FORMULA調理法

PROFILE
水村リア(みずむらりあ) : スーパーフォーミュラ・オフィシャルステージのMC担当。外国人ドライバーからレースクイーンまで幅広い対応力でステージを盛り上げる!

を支えた田中エンジニアは、今シーズンPP獲得など大活躍のルーキー、山下選手をサポート。「田中エンジニア×ルーキー×SUGO」ジックスなるか!? 現在シリーズのトップは今シーズン安定の速さを

見せる石浦選手…ですが、各選手のポイント差は僅かで、誰がオーバーテイクしてもおかしくない状況。各チーム、そしてチームメイトの間でさ熱々のチャンピオン争い。さらに、各地のコースレコードを更新している、「SF14×ヨコハマタイヤ」。そこに「なにが起こるか分からない」サーキットと、SUGOを得意とするドライバーやエンジニアのスパイスが加わって、一体どんなホットなメニューになるのかしら? 観戦で冷えた身体には、スタンド上のほっかほかの牛タンまんをおススメします♡

AUTOBACS Motorsports Conference
オートバックス モータースポーツ連絡協議会

KTEL RACE SERVICE

がんばろう!
九州

がんばれ!
熊本!

We are all together

TV放映/映像配信

BSフジ 決勝戦生中継 『2017スーパーフォーミュラ第6戦SUGO』

番組では現地の臨場感をそのままお届けします。オフィシャルcommentary・ピエール北川と、アンバサダー本山哲の場内実況がサーキットの臨場感をリアルに伝え、ピットからはレース解説に定評のある松田次生と、今シーズンから初参戦の東(ひがし)美樹が、現場の緊張感をレポートします。
○放送時間: 9月24日(日) 午後2時00分~3時55分

BSフジ 『スーパーフォーミュラ GO ON!』

番組では、注目のレース関係者や豪華ゲストを招き「人」をテーマにトークを展開、スーパーフォーミュラの魅力に迫ります。MCは小林可夢偉と中嶋大祐の現役ドライバー2人。その2人をピエール北川がサポートし、さらに乃木坂46の樋口日奈がナレーターとして華を添えます。加えて、レースダイジェストコーナーでは、ピットリポーター松田次生がトップドライバーならではの徹底解説をお届けし、東美樹が現地でアシストをします。
○放送時間: 第7回 10月7日(土) 午後11時00分~11時55分
再放送 10月15日(日) 午前1時00分~1時55分

J SPORTS

全7戦の予選と決勝の模様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組もOAします。
○放送時間: 9月23日(土) 午後2時00分~ 予選生中継 J SPORTS 3
9月24日(日) 午後1時40分~ 決勝生中継 J SPORTS 3

GYAO!

大会終了15日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。
<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

YouTube

スーパーフォーミュラ予選ならびに決勝の映像をダイジェスト版にて当日夜配信。詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブページ」(<http://www.superformula.net/>) でご確認ください。
[superformulavideo-YouTube](https://www.youtube.com/user/superformulavideo)
<https://www.youtube.com/user/superformulavideo>

TIME SCHEDULE タイムスケジュール

RACE レース
9月23日(土)
9:00-10:00 SUPER FORMULA フリー走行
10:15-10:45 F3公式予選
11:05-11:20 スーパーFJ公式予選
11:30-11:50 N-ONE公式予選
12:00-13:00 ビットウォーク
13:15-13:35 SUPER FORMULA公式予選(Q1)
13:45-13:52 SUPER FORMULA公式予選(Q2)
14:02-14:09 SUPER FORMULA公式予選(Q3)
14:55- F3決勝レース第19戦 [18周]
16:10- スーパーFJ決勝レース [12周]
16:50-17:20 キッズウォーク
9月24日(日)
9:00- 9:30 SUPER FORMULAフリー走行
9:55- N-ONE決勝レース [8周]
10:45-11:30 ビットウォーク
12:00- F3決勝レース第20戦 [25周]
14:10- SUPER FORMULA決勝レース [68周]

EVENT イベント
9月23日(土)
8:30- 8:45 オープニングステージ MC:水村リア
8:45- 9:00 サーキットクイーンステージ MC:水村リア
9:30- 9:50 ホンダリーフェルスステージ MC:水村リア
10:00-10:15 トヨタクイズ大会 MC:今井優香
11:15-11:30 トヨタドライバートークショー ゲスト:N.キャンディ選手、大嶋和也選手 MC:今井優香
12:05-12:20 スーパーフォーミュラ予選直前トークショー ゲスト:本山哲、東美樹 MC:水村リア
12:30-12:50 ホンダリーフェルスステージ MC:水村リア
14:15-14:30 トヨタクイズ大会 MC:今井優香
15:15-15:30 N-ONE OWNER'S CUPトークショー ゲスト:小山美穂選手 MC:水村リア
15:45-16:00 ホンダドライバートークショー ゲスト:山本尚貴選手、伊沢拓也選手 MC:水村リア
16:10-16:40 レースクイーンステージ MC:水村リア
16:50-17:20 テクノロジーラボラトリー 両角岳彦、浅見理美、スペシャルゲスト
9月24日(日)
8:25- 8:40 オープニングステージ MC:水村リア
8:40- 8:55 サーキットクイーンステージ MC:水村リア
9:00- 9:30 レースクイーンステージ MC:水村リア
9:35- 9:50 くま吉じゃんけん大会 MC:今井優香
10:05-10:25 トヨタ監督トークショー ゲスト:近藤典彦監督、星野一義監督、館信秀監督 MC:今井優香
10:30-10:45 ホンダドライバートークショー ゲスト:野尻智紀選手、中嶋大祐選手 MC:水村リア
10:50-11:05 スーパーフォーミュラ決勝直前トークショー ゲスト:松田次生、東美樹 MC:水村リア
11:10-11:30 ホンダリーフェルスステージ MC:水村リア
11:40-11:55 トヨタドライバートークショー ゲスト:関口雄飛選手、J.マードンボロー選手 MC:今井優香
12:45-13:00 N-ONE OWNER'S CUPトークショー ゲスト:中山友貴、小山美穂選手 MC:水村リア
13:05-13:20 トヨタクイズ大会 MC:今井優香
13:30-13:50 ホンダリーフェルスステージ MC:水村リア
16:30-17:00 テクノロジーラボラトリー 両角岳彦、浅見理美、スペシャルゲスト

*スケジュール、内容、出演者等は予告なく変更、中止になる場合があります。

OFFICIAL FAN CLUB CLUB F
新規会員受付中!

豪華入会特典やチケット販売など、ファンクラブならではのサービスを予定! 詳しくは公式サイト(<http://superformula.net>)内のファンクラブページをご覧ください

オンボード映像からレースを細解く『DRIVER'S EYES 2017シーズン Vol.2』第3戦富士、第4戦もてぎを収録したVol.2発売!

発売日:9月22日(金)/価格:2,700円(税込)
収録内容:第3戦 富士、第4戦 もてぎ
コース解説:フェリックス・ローゼンクヴィスト(富士)、国本雄貴(もてぎ)
主音声:松田次生(解説)、ピエール北川(実況)
副音声:走行音のみ

お求めは場内売店か公式サイトへ!

全戦のライブタイミングをはじめ、SFをより楽しめる情報満載!!
SUPER FORMULA 公式アプリ

各セッションのライブタイミングはもちろん、各車両の位置情報、セクターベストタイムなど、SUPER FORMULAファンだけでなく、モータースポーツファンなら抑えておきたいタイム情報が全て揃った便利なもの。これがあればレースがより楽しめる!!

*iOS用アプリはiPhone、iPadの両方に対応。また、アプリで配信される情報はパソコンのウェブブラウザでも閲覧可能です。
<http://superformula.racelive.jp/>

・アプリのダウンロード
価格 無料
動作環境 iOS用 iOS 8.0以降、iPhone、iPad、および iPod touchに対応
Android用 Android 4.1以降

インターネット/SNS

- スーパーフォーミュラ公式ウェブサイト <http://superformula.net>
- スーパーフォーミュラ公式Facebook <https://www.facebook.com/superformula.official>
- スーパーフォーミュラ公式Twitter https://twitter.com/super_formula

予選結果もすばやくここでCheck!